**● 競技車両規則　（レースカーの規格、作り上げるときのルールです）**

　競技車両を作るにあたっては、全員が守らなければらない「統一レギュレーション」と、部門（クラス）によって異なる「クラス別レギュレーション」の２つの車両規則があります。

　● **統一レギュレーション2023・・・これまでと変更ありません**



**※ゼッケン**

　ゼッケンは、地区大会および県大会それぞれで大会本部が指定します。

　ゼッケンの大きさは、縦25mm･横30mmのシールで、車両の上部に貼ることとします。レースカーにはそのスペースを設けなければなりません。

　また、ゼッケンの色は、地区大会では任意とします。

　県大会では、Bクラスは水色、Cクラスはオレンジ、A位はピンクとします。

○車両の大きさ

　　　・車幅　100mm以内（10cmを0.1mmでも超えたらだめです）

　　　・車長　200mm以内（20cmを0.1mmでも超えたらだめです）

　　　・車高　150mm以内（15cmを0.1mmでも超えたらだめです）

 ○車両の重さ

　　　・車重　500g以内（ゼッケンやステッカーや塗装が完了し、車検を受けるときの車両重量が

　　　　　　　　　　　　 500gを0.1gでも超えたらだめです）

 ○走行関係

　　　・車軸は２本、タイヤは４つとする（IB-GP2022から）

　　　・最低地上高　**10mm**以上

　　　・左右のタイヤの内側の距離　65mm以上

 ○車両の材質、形状

　　　・シャーシ（タイヤを取り付ける基礎部分）：木材に限る。形状は自由（Aクラスを除く）。

　　　・ボディ（シャーシの上に乗せる本体）のデザイン（形、色、材質）：自由。

　　　・車体は、1つの木材を削り出す等加工しても、複数の部材・材料を接合させても可

　　　・タイヤは、F1のように車体の外側でも、ツーリングカーのように車体の内側でも可。

　　　・デザイン上必要と思うもの（ウイング、スポイラー等）は、レギュレーションの範囲内

　　　　であれば可。

 ○県大会予選（地区大会）と県大会本戦の競技車両

　　　・県大会（本戦）には、県大会予選（地区大会）に出場した車輌に手を加えてはならない。
　　　　ただし、県大会予選（地区大会）で破損した箇所をのみを修理することは可能とする。

 ○その他

　　　・車体の上部には、大会が定めたゼッケンを貼付し表示するため、横3cm×縦2,5cmの平面の

　　　　スペースを設けること（半数以上のレースカーで守られていません）

　　　・また、大会スポンサーがある場合は、所定のステッカーを所定の位置に貼付しなければなら

　　　　ない。

 　● **クラス別レギュレーション2023**

　　・BCクラスでの、指定のシャーシ使用が規定から外され、使用が義務づけられるのは、
　　　車軸キットのみです。

　　・Bクラスで使用できるタイヤは、Cクラス同様に指定の競技タイヤです。

　　・前年に作成したレースカーの再使用はできないこととしていましたが、シャーシについては、

　　　再使用を認め、ボディを変更することで、レースに出場することができます。

**○競技車両作製の原則**

　　　◦Ｃクラスのレースカーは、カブスカウトが作製する。親はサポートにとどめる。

　　　　Ｂクラスのレースカーは、ビーバースカウトが親と一緒に作製する。

　　　◦レースカーは、その大会用（当該年度）に作製されたものであること。

　　　　ただし、昨年のレースに使用した車のボディ以外は再使用できます。

　　　◦レースカーは他人から購入したり、プロが作製したものは、認められません。

 **●Ｂクラス　（ビーバー部門）および　Ｃクラス　（カブ部門）**

　◦車軸

　　　　指定の車軸キットを使用して作ります。

　　　　　※車軸は、昨年作成した競技車両から移設してもかまいません。

　◦タイヤ

　　　　指定の競技タイヤを使用し、指定の車軸に取り付けます。

　　　　　　（IB-GP2022からは、指定の競技タイヤに限ります）

　　　　　※「指定のタイヤ」は県連事務局に注文ください。

　◦車のシャーシ、ボディ

　　　　シャーシは自分で用意した木材を、統一レギュレーションの範囲内で自由に作り上げ

　　　　ます。

　　　　ボディも自分で用意した材料で、自由にデザインして作ります。

　◦次のものを競技車両に付加してはいけません。

　　　　ⓐコース材と競技車両の摩擦を軽減するための一切のもの。

　　　　ⓑ車軸と車輪の摩擦を軽減するための一切のもの（油脂類含む）。

 **●Ａクラス　（オールフリー部門）**

　◦オールフリーですが、全て自由というわけではありません。競技車両規則「統一レギュレーショ

　　ン」は守らなくてはなりません。

　◦A部門のタイヤ

　　　最低地上高が10mm以上、左右のタイヤの内側の距離が65mm以上、確保できれば、タイヤ径

　　　やタイヤの幅は自由です。